

2019年1月11日 第3273回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 北村 会長

<斉 唱> 「君が代」「奉仕の理想」

<唱 和> 「四つのテスト」

<ゲスト紹介> *公益社団法人 横須賀青年会議所

理事長 大黒 健司 様

副理事長 近藤 智平 様・中本 剛央 様・齋藤 順也 様

専務理事 門井 秀孝 様

専務室長 高橋 慶光 様

*米山奨学生 葛嵐 様・金 聰 勅 様

<誕生月祝> *江 沢 暁彦 (S.16.1.1) *小佐野 圭三 (S.19.1.5)

*福 西 美子 (S.12.1.5) *鈴木 豊司 (S.48.1.8)

*中 島 茂 (S.23.1.8) *増 田 幸司 (S.45.1.16)

*齋 藤 秀人 (S.42.1.24) *曾 我 宗光 (S.45.1.26)

*鈴木 孝博 (S.41.1.27) *原 田 早苗 (S.50.1.27)

*飯 塚 進一郎 (S.25.1.28) *野 坂 英八 (S.24.1.29)

各会員
両会員

<入会月祝> ・清水 格 ・三 堀 孝夫

<会長報告> *ガバナー事務所より

・第2780地区・2590地区合同奨学生帰国報告会のご案内について

2月3日(日) 16:00~18:30 第1部奨学生帰国報告(七松 優さん)

19:00~21:00 第2部懇親会・ミニコンサート

於： 崎陽軒ジャスト1号館8F会議室2/崎陽軒本店5Fマンダリン

・下半期 人頭分担金送金依頼について

<委員長報告> *雑誌委員会 小山委員長よりロータリーの友1月号

*出席委員会 加藤 勲 委員より12月分席報告 12月平均出席率 77.21%

	会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
12月7日	122名	106名	67名	39名	12名	73.83%
14日	122名	108名	80名	28名	5名	78.70%
21日	122名	109名	83名	26名	4名	79.09%

<幹事報告> *ガバナー月信 No.7

*週報・・横須賀北RCより 受領

<出席報告> *出席委員会 加藤 勲 委員より1月11日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
122名	110名	74名	36名	3名	70.00%

<ニコニコ報告>

・三 役 横須賀青年会議所 理事長大黒健司様をはじめ各理事の皆様ようこそいらっしゃいました。本年もよろしくお願ひいたします。

・吉田、岩崎、福西、小平、田邊、大野、新倉 勲、
新倉 良、宮島、齋藤 勲、岡田、小沢、臼井、八巻 各会員

横須賀青年会議所 理事長大黒健司様、副理事長近藤智平様、中本剛央様、齋藤順也様
専務理事門井秀孝様 専務室長高橋慶光様、ようこそお越し下さいました。

・佐久間 会員 米山奨学生のカクランさん、金 聰勅さんようこそいらっしゃいました。

例会を楽しんで下さい。

- ・江 沢、小佐野、福 西、鈴木 豊、増 田、齋藤 倫、曾 我、飯 塚、野 坂 各会員 誕生月祝いとして
- ・清 水 会員 入会月祝いとして
- ・瀬 戸、加藤 倫、福 西、吉 田、梁 井、高橋 倫、渡 邊、田 邊、大 野、波 島、新倉 倫、濱 田、長 尾、角 井、猿 丸、八 巻、藤 村、澤 田、小林 倫、丸 山、飯 塚、加藤 倫、徳 永、佐久間、鹿 島、根 岸、上 林、前 川、Enora、福 島、岡 田、小佐野、小 山、小沢、門 井、若麻績、町 田、小林 (-)、鈴木 豊 各会員
山寄会員、五十嵐会員本日の卓話宜しく申し上げます。お話 楽しみです。
- ・越 川 会員 山寄、五十嵐会員 年男：根岸・越川の代表として申し上げます。
- ・山 寄 会員 拙い年男卓話をお詫び致します。
- ・五十嵐 会員 本日卓話させていただきます。皆様宜しく申し上げます。
- ・勝 見、大 野、新倉 倫、波 島、濱 田、山 寄、丸 山、上 林、飯 塚、木 村、谷、齋藤 倫、物 井、上原 倫、明 野、宮 島、前 川、渡辺 倫、野 坂、Enora、小 沢 各会員
新年明けましておめでとうございます。今年一年が皆様にとりまして素敵な一年であります様に。
- ・丸 山 会員 折り返し地点、会長頑張ってください。

<年 男 卓 話>

山 寄 進 康 会 員

私は昭和10年(1935)10月生まれの干支が猪の年男であります。本日は「年男会員卓話」と言うテーマを載いておりますので、干支の猪について何か「ネタ」がないかと探してみましたが、既によく知られている「猪突猛進」に関するたわいもない逸話が最も多く語られているのが目に付くくらいでしたが、その中でもある逸話では、「元旦に、12番目までの動物に一年の冠を褒美としたレース」が行われたといえます。レースでは一斉にスタートすると同時に、猪は猪突猛進・全力疾走で走り出し、ゴールの神様の前を通り過ぎてしまい、しかも中々Uターンが出来ず、やっとのことでUターンをしてゴールに向かった時には既に11匹の動物はゴールしていて門を閉めかけていたところでしたが、猪は勢い余って止まることが出来ず、その門をぶち破りやっと止まることが出来て12番目に入ることができ「12番目の年の干支を猪」として「冠」を戴いたと言う、何とも私自身、身につまされる一面を持つ逸話が印象的でした。



そこで、私は干支の猪に何か自慢の出来る「言い伝え」の様なものはないのだろうかと探してみましたら、意外と簡単に見つかりました。それは、「猪の肉は万病を防ぎ、無病息災の象徴と言われている」と言うものでした。命ある者、無病息災を願わぬ者はいないでしょう！猪の肉はその象徴と言うのでありますから、元旦を祝うお雑煮にも猪肉バージョンが有って無病息災を願うのも良いかもしれません。

実際、どのような根拠が有って猪肉が健康に良いと言われているのでしょうか？食用四足動物として最もポピュラーな牛肉、豚肉と比較してその組成を調べてみました。結果は、猪肉は三者間では所謂、健康に良い食品であることが頷けるデータが示されていました。総合的に申し上げますと、猪肉は低脂肪、高蛋白

でしかも低カロリー食品と言う優れたものでした。牛肉と比較しますと、カロリーは1/3、脂肪は1/2と言う少なさで有るにも関わらず、蛋白質は1.4倍、ビタミンB1群はなんと40倍と多く含まれているというデータでした。豚肉との比較でも、牛肉程の較差は認められませんでした。そして、示された低脂肪と言うデータの中でも、一般に「身体に良い脂肪」と言われている多価不飽和脂肪酸の含有量は、牛肉、豚肉に比べて猪の方が多く含まれ、反対に悪者扱いされ、動脈硬化や肥満の原因とされている飽和脂肪酸の含有量は猪肉は少なく、牛肉の半分位しか含まれていないというデータでした。つまり、猪肉は良い脂肪は多く、悪い脂肪は少ないということが、健康によく、動脈硬化、肥満を防ぎ脳梗塞、心筋梗塞になりにくいと言う事になります。たまには牡丹鍋を囲んで戴くのも「有り」かなと思ひ、あえて申し上げました。

干支の話は此のくらいにしまして、次に、昭和10年とはどんな年であったのか、出来事を見てみたいと思います。昭和10年には第4回国勢調査が行われています。日本の総人口は9,769万人で平均寿命が発表されていますが、なんと男性が46.92才、女性でも49.63歳という驚愕的な数字が発表されています。

また、忠犬ハチ公の死亡記事が出ていました。享年13歳で死因はフィラリア症と言う事でした。既に有名になっていたハチ公には、前年度に銅像が建てられていたそうですが、その銅像にまで喪章が付けられていたということも話題になっていたようです。この話には関連した後日談が有りまして、朝日新聞が戦後になって報じたニュースですが、実はハチ公は御主人の上野博士の帰りを待っていたのではなく、駅前で貰える焼き鳥が目当てで有ったと言う可愛げのある犬の話であったのを、当時の記者があえて主人を待つ忠義の老犬の話として新聞に掲載したものらしく、事実、死亡したハチ公のお腹から焼き鳥の串が何本も出てきたそうです。

他にも、日産自動車横浜工場で国産第1号車となる「ダットサン号」が昭和10年に製造・販売されました。日産は既に昭和5年には「ダット号」という試作車があり、その息子と言う意味で「ダットサン号」と命名して、発売されたと言うことです。1台の販売価格は1,900円であったそうです。ちなみに、天井20銭、うな井25銭、猪鍋は一寸高く30銭、白米10Kgは2円39銭の時代でした。

<年 男 卓 話>

五十嵐 俊 男 会 員

前回卓話は60歳還暦時で、この時はイノシシ年の云われや、福島県棚倉田舎倶楽部近くの山本不動尊のお正月の縁起物「猪のたてがみ」は三本に開いており末広がりでお金が貯まる、猪口で一杯猪のハムの燻製で今日の卓話を聞いている人を燻製の煙で煙に巻くことでお話を閉じさせていただきました。

私は昭和22年(1947年)猪年生まれで、猪の捕獲・料理や猪に関わる事に興味がありますが、猪を神にささげる儀式で有名なのは宮崎県椎葉村の御神楽にささげる猪などがありますが、他に日本各地に沢山の山岳信仰があります。

一つだけご紹介しますと、大分県の国東半島の麓の辺に、大分県臼杵市白鹿権現(しし権現)がございます。ここに猟師(ハンター)のはしぐれとして猪供養と狩猟の安全祈願に一人で行って来ました。ここは平安時代から山猟師の神様として崇拝されてきた神聖な洞窟です。



ものすごいパワースポットでもあり、日本最強禁断の洞窟(骸骨洞窟)といわれ、女人禁制で狩猟民族を中心とした宗教形態をもち、原始の信仰であり山岳信仰でもあります。ふざけて行ったり物見遊山ではたたりがあるといわれ、一人では大変危ない場所です。

垂直の鎖場を三段にわけてよじ登ると現れる骸骨洞窟は、身の毛もよだつ脊筋の寒くなる神聖なところでした。ここで数枚の写真を撮りましたがなぜか写真の殆どがボケてしまい、一つだけ、岩瀬会員からいただいた100人のお坊さんのご祈祷を受けた

塩の袋はかろうじて写っていました。霊場に入る前にこのお塩でお清めをしました。

このご祈禱を受けたお塩のおかげか、当日前後は熊本・大分各地で地震が発生していましたが、私は無事に下山出来ました。

貴重な体験をしたので猪年の卓話として紹介させていただきました。僭越ですが次の12年後の卓話も出来るように、健康に留意しロータリー仲間と楽しい日々を送りたいと思います。

<閉会・点鐘> 13:30 北村 会長

週報担当 岩崎 次郎

